

平成28年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成27年度実績)

担当課 06世界遺産推進課

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	3570	事務事業コード	0602
事務事業名	世界遺産登録推進事業				開始年度	平成16	終了年度	平成30
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	無し		例規等	佐渡市世界遺産登録推進活動費補助金交付要綱		
将来ビジョン	2. 観光等交流人口の拡大 (1)観光の振興						H26: 重点●政策○	●
H27施政方針	1. 人口減少対策 (3)特色ある地域づくり ② 地域資源を活用した活性化						H27: 重点●政策○	●
H28施政方針	2. 島の魅力の発信とおもてなしの推進 (2)物語性のある魅力発信						H28: 重点●政策○	●
事業概要	① 鉱山関係歴史史料調査事業(鉱山遺産の調査・研究) ② 世界遺産登録業務調査研究事業(構成資産の資料調査及び同意形成に係る協議) ③ 世界遺産登録推進活動費補助事業(民間団体等への世界遺産登録に係る事業費補助) ④ 佐渡金銀山ガイダンス施設整備事業(実施設計及び建設工事) ⑤ 世界遺産推薦書作成業務(世界遺産登録する際に、国へ提出する書面の作成) ⑥ 普及啓発事業(金の道サミット・シンポジウムなど) ⑦ 一般経費(誘導案内看板設置ほか) ⑧ 一般経費							
対象	世界遺産登録推進に向けた事務事業							
意図 (対象をどのようにしたいか)	世界遺産登録業務が遅滞無く進める							

Do

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	26年度 実績値	27年度(評価年度)		28年度 目標値	29年度 目標値	31年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
世界遺産推薦書作成業務進捗状況		%	50	90	90	95	100	-
算式	-							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名			H26 決算額	H27 決算額		H28当初 予算額	H29以降の 予算の方向性		重点 細事業
	指標	目標(成果)指標名	単位	H26実績値	目標値	実績値	H28目標値	事業の方向性		
1	鉱山関係歴史史料調査事業			5,085	5,104		5,120	予算	維持	
	指標	調査指導員数	人	3	3	3	3	事業	維持	
2	世界遺産登録業務調査研究事業			5,844	931		405	予算	維持	
	指標	調査研究回数	回	15	17	6	5	事業	維持	
3	世界遺産登録推進活動費補助事業			717	698		2,000	予算	維持	
	指標	補助団体数	団体	1	3	2	3	事業	維持	
4	佐渡金銀山ガイドランス施設整備事業			0	10,081		33,222	予算	増額	◎
	指標	件数	-	-	-	-	-	事業	拡充	
5	世界遺産推薦書作成業務			21,498	20,813		18,832	予算	維持	○
	指標	進捗率	%	50	90	90	95	事業	維持	
6	普及啓発事業(金の道サミット及びシンポジウム)			0	3,692		981	予算	維持	
	指標	参加者数	人	-	500	176	300	事業	維持	
7	一般経費(誘導案内看板設置ほか)			4,499	5,652		20,542	予算	維持	○
	指標	-	-	-	-	-	-	事業	維持	
8	一般経費(自動車購入費)			0	3,888		0	予算	不要	
	指標	-	-	-	-	-	-	事業	終了	
事業費の合計(千円)				37,643	50,859		81,102			
財源内訳				国庫支出金	0	0	7,501			
				県支出金	0	4,806	16,038			
				地方債	0	0	0			
				その他	0	0	0			
				一般財源	37,643	46,053	57,563			

Check		◆事務事業を構成する細事業の評価◆			A：適正である B：検討の余地あり C：見直しすべき	
枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策	
1	鉱山関係歴史史料調査事業	A	A	A		
2	世界遺産登録業務調査研究事業	A	A	A		
3	世界遺産登録推進活動費補助事業	A	B	A		
4	佐渡金銀山ガイドンス施設整備事業	A	A	A		
5	世界遺産推薦書作成業務	A	A	A		
6	普及啓発事業(金の道サミット及びシンポジウム)	A	B	A		
7	一般経費(誘導案内看板設置ほか)	A	A	B		
8	一般経費(自動車購入費)	A	A	A		
Action		◆今後の事務事業の方向性◆				
評価(担当課長)		事業の方向性	拡充	予算の方向性	増額	
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)		世界遺産登録に必要な推薦事務を継続する必要がある。平成30年度の世界遺産登録を目指し、それまでの間は予算並びに事業は維持の方向で推移したい。				